

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新居浜市立角野小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒792-0841  
愛媛県新居浜利中筋町2丁目7-10

E-mail : smne-ad@esnet.ed.jp

Website : http://sumino-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数：男子 333名 女子 317名 合計 650名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( ふるさと学習 )

## 4. 活動内容

### 1 活動の実施計画

#### (1) 3年生 「たんけん、発見、みんなの町 角野」

実施時期	4月～3月	時間数	30時間
主な指導計画	第1次 学校の周りの様子について知ろう。(2時間) 第2次 自分の調べたいことを決めよう。(3時間) 第3次 自分のテーマについて調べよう。(20時間) 第4次 発表会をしよう。(5時間)		
見学場所・協力者	瑞応寺 <sup>ずいおうじ</sup> 内宮神社 <sup>うちのみや</sup> 山根体育館 <sup>やまね</sup> 別子銅山記念館 <sup>べっしどうざん</sup> 喜光地商店街 <sup>きこうじ</sup> 新居浜南高等学校 新居浜温泉パナス 今井醤油 民話の里角野 <sup>すみの</sup>		
教材	『わたしたちの新居浜市』(社会科副読本)		

#### (2) 4年生 「角野タイムトラベル」

実施時期	9月～12月	時間数	35時間
主な指導計画	第1次 昔の角野について知ろう。(2時間) 第2次 自分の地域を調べよう。(8時間) 第3次 自分の研究テーマを決め、調べよう。(8時間) 第4次 調べたことをもとにまとめよう。(8時間) 第5次 みんなに自分の調べたことを発表しよう。(4時間) 第6次 自分にできることを考えよう。(4時間)		
見学場所・協力者	昔の角野 <sup>すみの</sup> の様子の話 角野老人会クラブ連合 マイントピア別子 <sup>べっし</sup> 別子銅山記念館 <sup>べっしどうざん</sup> 山根公園 <sup>やまね</sup> 広瀬記念博物館 <sup>ひろせ</sup> 新居浜南高等学校生徒 角野公民館 <sup>すみの</sup> 民話のさと角野 <sup>すみの</sup> 地域の方々		
教材	パンフレット (マイントピア別子 <sup>べっし</sup> 広瀬歴史記念館など) 紙芝居 (たからの山、緑の恩送り、鷺尾勘解治 <sup>わしおかげじ</sup> ) 別子銅山 <sup>べっしどうざん</sup> 関係資料		

#### (3) 5・6年生 「別子銅山のことをもっと知ろう(私たちの誇り、別子銅山)」

実施時期	7月～11月	時間数	25時間
主な指導計画	第1次 別子銅山 <sup>べっしどうざん</sup> の遺跡(旧別子 <sup>きゅうべっし</sup> )を調べる計画を立てよう。(4時間) 第2次 別子 <sup>べっし</sup> に住んでいた人の話を聞こう。(5時間) 第3次 自分の課題を追究し、まとめる。(10時間) 第4次 別子銅山 <sup>べっしどうざん</sup> のすばらしさを発表しよう(6時間) ※ 予算の都合がつけば、旧別子 <sup>きゅうべっし</sup> の見学を行う。		
見学場所・協力者	内宮神社 <sup>うちのみや</sup> 山根グラウンド <sup>やまね</sup> 新居浜市教育委員会 喜光地商店街イベント 広場 新居浜市都市計画課 別子銅山 <sup>べっしどうざん</sup> ボランティアガイド		
教材	郷土本 パンフレット (別子銅山 <sup>べっしどうざん</sup> 関係) 風土記		

## 2 今年度の主な活動

### (1) たんけん、発見、みんなの町 角野（3年生）

「総合的な学習の時間」のまち探検の学習で、街中にある「顔のように見えるモノを探す」「おもしろい看板をさがす」「めずらしい建物をさがす」などの学習を行った。最初、街中を歩いてみても、それらしきものはなかなか、見つけることはできなかったが、視点を決めてグループで探していく中で、いろいろなものを見つけ出すことができた。学校の目の前にある角野保育園の横の壁には、信号のように、3色の大きな円の形をしたものがある。子どもたちは毎日、目に入っているはずである。並び方は左から「赤、青、黄」となっている。今まであまり気にしていなかったが、信号をモデルにしているのだとすると、並び方が違っているのが不思議である。そこで「まちたんけん」の学習でこの写真を子どもたちに見せて、「気がついたことを言ってごらん」とたずねたところ、ある一人の女の子が言った。

「これ、人のカオに見える。よくみると、目（やや低い）鼻、頭・・・」たしかにそうだ。子どもたちの目線からすると、「かお」なんだなあと思った。

大人の感覚よりも、子どもの見方のほうがはるかに鋭いのに驚いた。こういったものを街中でもっと見つけてみようということで、子どもたちと一緒に歩いたり、家で調べてきたりした。思ったよりもたくさんあった。その場所を地図で確認した。その後、3つのグループに分かれて、校区内の特徴のある景観や建物などを見学した。その成果をまとめて、ポスターセッションの形で発表した。



### (2) 角野タイムトラベル（4年生）

校区の別子銅山せつとう節保存会の方に、せつとう節を見せていただいたり、別子音頭と一緒に踊ったりする交流体験学習を行った。まず、「チンカン」と石をせつとう（石を叩く金槌）でたたく音に合わせて、せつとう節を説明するナレーションが入った。そして、代わる代わるせつとう節の歌に合わせて、昔の鉱山で鉱石が採掘される様子が再現された。次に別子音頭が流され、保存会の方が踊りを披露してくれた。その後、せつとう節の一連の動作について会長より説明があり、児童から感想や質問がいろいろと出された。最後に、別子音頭を保存会の方に教わりながら一緒に踊った。音楽に合わせて一通り踊った後、子どもからは、「もう一回踊りたい」という声が上がった。

本校では毎年、4年生が別子銅山や銅山と歴史的につながりの深い「ふるさと角野」について学んできたことを、新居浜別子ライオンズクラブの方や地域の方をお招きして発表会を実施している。発表は、各クラスの代表二グループずつが行った。別子銅山の歴史や広瀬幸平、仲持さんの仕事、せつとう節や別子音頭の実演などそれぞれよく工夫しており、参観者も驚いていた。その後、ライオンズクラブの会長さんより、お話をいただき、続いて「子ども観光大使認定証」が各クラスの代表に渡された。



### (3) 南高校生との校区探検（6年生）

角野公民館のお世話で、本校6年生と南高生による校区内に残る近代化産業遺産をめぐり交流授業を行った。南高生は、ユネスコ部が中心となって、コースの資料配布や現地での説明を担ってくれた。また、公民館の運営審議委員の方々もサポート役として参加してくれた。

6年生は、南高ユネスコ部の部員の案内で、別子銅山の収銅場、別子銅山記念館、大山積神社など別子銅山ゆかりの遺産をクラス別に分かれて見学した。大変寒い天候だったが、どの児童もユネスコ部の部員の熱心な説明に聞き入っていた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）